

進行マニュアル ワークシート集 〈ショートバージョン〉

※ このショートバージョンは、本編を実施状況に合わせて、30分程度でできるように作成したものです。時間の関係で、ねらいの一部については、網羅していないものもあります。

- 1 【プログラムⅡ-①-1】
子どものほめ方・しかり方
- 2 【プログラムⅡ-①-2】
子どもの悩みを聞いてみよう
- 3 【プログラムⅡ-②-4】
携帯電話やインターネットと親の対応①
- 4 【プログラムⅡ-④-2】
応援したい！子どもの夢や希望
- 5 【プログラムⅣ-③】
自分のもっている知識や技を伝えよう

【プログラムⅡ-①-1】

テーマ 親子のコミュニケーション

プログラム 子どものほめ方・しかり方

ねらい 子どもに対するほめ方やしかり方についてロールプレイングをしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に応じたよりよい言葉かけについて考える。

<展開(30分)> ※ しかり方についての展開例です。

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 5分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・仲間さがし 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 20分	4 子どもをしかる時のよりよい言葉かけについて考える。 ① ワークを記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ワークシートを配ります。ワークシートの場面では、皆さんなら、どう言いますか？自分の考えを自由に記入しましょう。 </div> ② ロールプレイングを行う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 4人グループで2つのペアを作りましょう。ワークシートに書いた台詞をもとに、子供役と親役に分かれて、相手に言ってみましょう。もう片方のペアはロールプレイングを見ましょう。 </div> ③ グループ(4人)で話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グループ内のロールプレイング見て、子どものしかり方について感じたことを話し合しましょう。後で、グループの代表の方に発表してもらいます。 </div> ④ 全体場で発表する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> それでは、グループの代表の方に発表してもらいますので、皆さん、ご覧ください。様々な言葉かけがあり、とても参考になりましたね。皆さん、御覧になって、どうでしたか。 </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ワークショップ(ロールプレイング)> 家の中で暴れていて、大事な花瓶をこわしてしまい、子どもが何も言わない時 例：「怒らないから、理由を言ってごらん」 「お母さんは自分から言ってほしかったな」 「けがはなかった」 など </div> <ul style="list-style-type: none"> すべての参加者のロールプレイングに対して、お互いのよさを認め合えるようにする。 「あなた」を主語にしたYOUメッセージ*だけでなく、「私」を主語にしたIメッセージ*のよさについても伝える。 <p>【参考】ほめかた例</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ワークショップ(ロールプレイング)> 夕食の支度をしている最中に、子どもが「今日、初めて5メートル泳げたよ。」と言ってきた時 例：「今忙しいから後で聞かせてね」 「すごいじゃない。頑張ったね」 「次は10メートルを目指そうね」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 言葉でのほめ方だけでなく、表情や手振り等の表現を工夫することにも気づいてもらう。 話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく自分のほめ方についても振り返ってもらう。
まとめ 5分	5 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 最後に、「うんちっち」という絵本を読みます。これからも子どもの気持ちに寄り添って言葉かけができるといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「うんちっち」(ステファニ・ブレイク作 あすなろ書房)の読み聞かせを聞き、子どもの気持ちに寄り添うことの大切さに気付かせる。 今日の学習の感想を書かせる。

*YOUメッセージ…「あなたは〇〇だね」と相手を主語にして観察したことや感じたことを伝えるメッセージ

*Iメッセージ…「私は〇〇だよ」と発信する人の「私(I)」を主語にして感じたことを伝えるメッセージ

『(11-①-1) 子どものほめ方・しかり方』ワークシート

ワーク (ロールプレイング)

<場面設定> 家の中で暴れていて、大事な花瓶をこわしてしまい、子どもが何も言わない時。

<子ども役>

(例) ・何も言わないでだまっている。



<親役>

グループ内の発表を聞いて感じたこと

<今日の学習の感想>






【プログラムⅡ-①-2】

テーマ 親子のコミュニケーション

プログラム 子どもの悩みを聞いてみよう

ねらい 思春期の子どもの悩みについて話し合ったり、ロールプレイングをしたりすることを通して、親子のコミュニケーションの在り方について考える。

<展開(30分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 6分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・後出しジャンケン 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 5分	4 思春期の子どもの悩みについて考える。 ○ グループで話し合う  思春期の子どもの悩みについて考えましょう。実際に子どもが悩んでいることだけでなく、自分が子どもの頃悩んでいたことや、一般的な子どもの悩みなど想像できることも挙げてください。	<ワークショップ1(話し合い)> グループ内で思春期の子どもの悩みについて考えましょう。 例：「うちの子は友達関係で悩んでいます」「自分は運動が苦手で悩んでいました」「父親とうまくいっていない」など
展開 (2) 13分	5 子どもの悩みに対するよりよい言葉かけについて考える。 ① ワーク2に記入する  子どもの悩みに対するよりよい言葉かけについて考えましょう。悩みの内容については、事前にペアで話し合っていて決めてください。 ② ペアでロールプレイングを行う  4人グループで2つのペアを作りましょう。ワークシートに書いた台詞をもとに、子ども役と親役に分かれて、演じてみましょう。もう、片方のペアはロールプレイングを見ましょう。 ③ 全体で話し合う  グループ内での発表を見て、感じたことなどを発表しましょう。これまでの自分の子どもへの対応についても振り返ってみましょう。	<ワークショップ2(ロールプレイング)> 子どもが普段より元気がなく、悩みを打ち明けたような時。 例：「お母さんも子どもの頃悩んでいたよ」「学校の先生に相談してみたらどうかな」「お父さんと一緒に頑張ってみるか」など ・事前に、4人グループで2つのペアを作っておく。 ・ロールプレイングを見る際は、自分の声かけとどのような点が異なっているのか考えて聞くように留意させる。 ・すべての参加者のロールプレイに対して、お互いのよさを認め合えるようにする。
まとめ 6分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  最後に、「きもち」という絵本を読みます。思春期のお子さんの悩みに少しでも寄り添ってあげられるといいですね。	・「きもち」(ジャン・ケイン作、少年写真新聞社)の読み聞かせを聞き、子どもの悩みに寄り添うことの大切さに気付かせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『【11-①-2】子どもの悩みを聞いてみよう』ワークシート

ワーク1 (話し合い)

<課題> 思春期の子どもの悩みについて考えましょう。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> 子どもが普段より元気がなく、悩みを打ち明けたそうな時。

<子ども役>

(例) 「お母さん、学校の友達が最近無視するんだ。」



<親役>

<今日の学習の感想>






【プログラムⅡ-②-4】

テーマ 家庭のしつけとルール

プログラム 携帯電話やインターネットと親の対応①

ねらい 携帯電話やインターネットの光（メリット）と影（デメリット）を話し合い、携帯電話やインターネットの使い方についての我が家のルールを考える。

<展 開（30分）>

時間	展 開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 5分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・O×クイズ 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 （1） 5分	4 携帯電話やインターネットの光（メリット）と影（デメリット）について説明する。 ① 光（メリット）、影（デメリット）について説明する。  <p>メリットについては、すぐに分からないことを調べられたり、誰とでもネットでつながったりするなどがあります。一方で、デメリットとして、メールなど依存してしまう恐れがあり、個人情報漏れる危険性もあります。</p> ② 影（デメリット）に対しては、具体的な対応策を説明する。  <p>依存症にならないように家族で使用時間を決めたり、個人情報漏れないようにフィルタリングをかけたりするなど、デメリットについては対応策を考えておく必要があります。</p>	<トレーナーからの説明> 子どもが携帯電話やインターネットを使う時の光（メリット）と影（デメリット）にはどのようなことがあるでしょうか。 例：「すぐに分からないことを調べられる」「誰とでもネットでつながる」「メールなど依存してしまう恐れもある」「個人情報漏れる危険性がある」「出会い系サイトなど危険性もある」など ・トレーナーが、体験談や知人の話、マスコミ等の情報などから光（メリット）と影（デメリット）についていくつか具体例を例示する。 ・影（デメリット）に対しては、親の対応策の具体例をいくつか例示し、展開（2）につなげるようにする。
展開 （2） 10分	5 携帯電話やインターネットの使い方についての我が家のルールを考える。 ① ワークに記入する  <p>携帯電話やインターネットの使い方について、我が家のルールを一つ考えましょう。子どもだけでなく、親も一緒に努力していけるようなルールを考えましょう。</p> ② グループで話し合う  <p>「〇〇家のルール」については、それぞれの家庭にあった数のルールでいいですよ。グループの発表を参考にして、家に帰って「〇〇家のルール」を完成させてください。</p>	<ワークショップ（話し合い）> 携帯電話やインターネットの使い方についての「〇〇家のルール」を一つ考えよう。 例：「危険なサイトは利用しない」「ネットに悪口を書き込まない」「使い過ぎない」など ・グループや全体の発表を聞いて、自分が考えたルールを修正してもよい。 ・「〇〇家のルール」については、グループの発表を参考にして、家に帰ってからそれぞれの家庭にあったルールを完成させるようにする。
まとめ 10分	6 まとめ ・ブックトーク ・今日の学習の感想  <p>最後に、「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」という文部科学省のリーフレットを紹介しましょう。お子さんの携帯電話やインターネット利用に対して親としての心構えがもてるといいですね。</p>	・「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」（平成24年度文部科学省リーフレット）のブックトークを聞き、子どもの携帯電話やインターネット利用への親の心構えをもたせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『(11-2-4) 携帯電話やインターネットと親の対応①』ワークシート

メモ (メリットとデメリット)

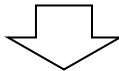
<課題> 子どもが携帯電話やインターネットを使う時の光 (メリット) と影 (デメリット) にはどのようなことがあるでしょうか。

メリット	デメリット

ワーク (話し合い)

<課題> 携帯電話やインターネットの使い方についての「〇〇家のルール」一つを考えよう。

○ 家族で話し合って決めましょう



「我が家のルール か条」

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

<今日の学習の感想>





【プログラムⅡ-④-2】

テーマ 子どもの個性と夢

プログラム 応援したい！子どもの夢や希望

ねらい 子どもがもっている将来の夢や希望、親自身の考える子どもの将来への希望を情報交換することで、親の子どもへの思いや願いを共有する。

<展開（30分）>

時間	展開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 5分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><3つの約束></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 5分	4 子どもがもっている将来への夢や希望について考え、ワーク1に記入し、話し合う。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。自分の考えをワーク1に記入しましょう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><ワークショップ（話し合い）> お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。</p> </div> <p>例：「人の役に立つ仕事に就きたいようです」「子どもの面倒をみるのが好きなようです」「看護師になりたいようです」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが将来夢や希望をまだもっていない場合や、親が知らない場合は、子どもの長所を書いてもらう。
展開 (2) 15分	5 我が子の将来について、自分がどんな思いや願いをもっているかを考える。 ① ラベルに記入する  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 皆さんは、お子さんの将来について、どんな思いや願いをもっておられますか。お子さんの夢や希望と違っていいですので、思っていることを正直に書いてくださいね。 </div> ② グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 子どもへの思いや願いを等身大の子どもの絵が書かれた模造紙に貼りましょう。そして、グループや全体に紹介しましょう。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><ワークショップ（ラベルワーク）> あなたは、お子さんの将来について、どのような思いや願いを持っていますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの夢や希望と違っていいので、できるだけ親の本音を引き出す。 子どもへの思いや願いをラベルに書き込み、等身大の子どもの絵が書かれた模造紙（頭、心臓、手、足など）に貼ることで、子どもへの思いや願いを可視化する。 グループや全体で情報交換することで、お互いの親の思いや願いを共有する。
まとめ 5分	6 まとめ ・ブックトーク ・子どもへの応援メッセージ  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 最後に、「ぼくのしょうらいのゆめ」という本を読みます。お子さんの将来の夢や希望に寄り添いながらも、皆さんの思いや願いを伝えられるといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「ぼくのしょうらいのゆめ」（野口聡一他作、プチブラブリッシング）のブックトークを聞き、子どもがもっている将来への夢や希望に寄り添うことのよさに気付かせる。 子どもへの応援メッセージを書かせる。

『(11-④-2) 応援したい! 子どもの夢や希望』ワークシート

ワーク1 (話し合い)

<課題> お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。



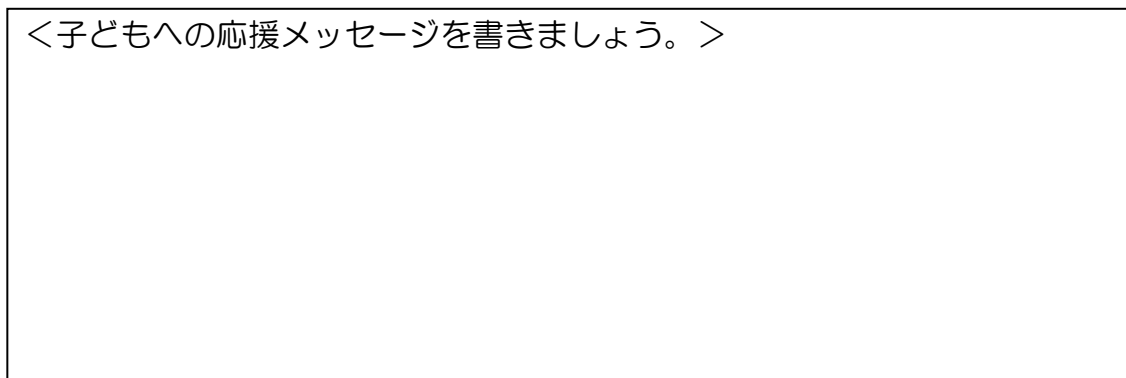
ワーク2 (ラベルワーク)

<課題> あなたは、お子さんの将来について、どのような思いや願いをもっていますか。

メモ



<子どもへの応援メッセージを書きましょう。>








【プログラムⅣ-③】

テーマ シニアの知識や技

プログラム 自分のもっている知識や技を伝えよう

ねらい 自分のもっている知識や技についての話し合いを通して、地域の子どものために自分達ができそうなことについて考える。

<展 開 (30分) >

時間	展 開 (進行マニュアル)	展開のポイント
導入 5分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 10分	4 地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)について考える。 ① ラベルに記入する  <p>地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)は何でしょうか。特別に得意なことがない場合は、一緒に遊ぶや一緒に掃除などでもいいですよ。</p> ② ラベルワークを行い、グループで話し合う  <p>できそうなこと(知識や技)をカテゴリーごとに分けましょう。一緒に活動できそうな仲間がいちゃったら、確認しましょう。</p>	<ワークショップ1 (ラベルワーク) > 地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)は何でしょうか。 例：「読み聞かせや昔話ができる」 「花を植えたり、育てたりするのが得意」 「竹とんぼなど竹細工が得意」など ・特別に得意なことがない場合は、一緒に遊ぶや一緒に掃除などでも良いことを伝える。 ・できそうなこと(知識や技)をカテゴリーごとに分けることで、一緒に活動できる仲間を確認する。 カテゴリー例：自分の趣味・特技(花作り、竹細工、読み聞かせ)、子どもと共に作活動するなど
展開 (2) 10分	5 地域の子どものために自分達ができそうなこと(知識や技)をもとに、計画案を考える。 ① ワーク②に記入する  <p>地域の子どものために自分達ができそうなこと(知識や技)をもとに、計画案を考えましょう。活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えてもいいですよ。</p> ② グループで話し合う  <p>実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合しましょう。完成した計画案は、掲示しましょう。掲示後は、自由に見学してください。</p>	<ワークショップ2 (話し合い) > 地域の子どものために自分達にできそうなこと(知識や技)をもとに、〇〇〇計画案を考えよう。 例：「保育園で、昔話をする」 「小学校で、花植えや草取りをする」 「習字の授業の手伝いをする」など ・活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えてもらう。 ・実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合う。 ・グループでの話し合い終了後、室内に掲示し、自由に見学する時間を設定する。
まとめ 5分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <p>最後に、「わらべうたであそびましょ！」という絵本を読みます。地域の子どものために、自分のもっている知識や技を積極的に伝えていけるといいですね。</p>	・絵本「わらべうたであそびましょ！」(さいとうしのぶ編・作、のら書店)の読み聞かせを聞き、地域の子どものために自分達の知識や技を伝えようとする意欲をもたせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『Ⅳ-③』自分のもっている知識や技を伝えよう』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞地域の子どものために自分ができそうなこと（知識や技）は何でしょうか。

メモ

ワーク2 (話し合い)

＜課題＞地域の子どものために自分達にできそうなこと（知識や技）をもとに、〇〇〇計画案を考えよう。

(例) 日時、場所、対象、必要なものなど

＜今日の学習の感想＞